

メディア掲載情報

媒体名	鉄鋼新聞
掲載号	
掲載日	2015年5月19日
掲載内容	加工設備増設について

デン
ツ
カー
アーキ

室内用階段製造の設備増強

母材の鋼板加工を効率化

室内用スチール階段メーカーのカツデンアーキテック（本社・東京都台東区、社長・坂田清茂氏）は、主力生産拠点「団地工場」（埼玉県美里町）で母材に使用する鋼板の加工設備を増強した。従来それぞれに稼働していた穴あけと切断の工

程を一本化。受注可能な対応領域が拡大し、母材の精度と速度が増すことで、さらなる品質や出荷態勢の柔軟性向上につなげる。

両加工機能を兼ねる複合機「LC2012-1C1」（アマダ製）を導入し、今月から稼働している。写真

真。同一の機械で製品を作り上げるため、これまで必要だった段取りと空間が大幅に省ける。多様な顧客の要請に見合った高品位な母材を一貫して供給できる仕様に整備している。

また、空気でアシストガスを代用する専用



装置を付帯。構内で発生する音を抑え、ガスを送り出す設備に充てている。スペースを有効利用できる工夫を凝らす。両加工の既存ラインは、初の海外拠点でベトナム南部のビンズオン省で建設中の工場に移管する。

カツデンアーキテックは03年に親会社カツデンの建設事業部を分社。「板金加工」「溶接」「塗装」の3工程を強みに持ち、意匠性豊かな室内階段を手掛ける。

本記事の内容は雑誌・媒体掲載時の情報です。
発表内容・製品仕様など発表当時と現在とで異なる場合があります。
あらかじめご了承ください。